

博士課程

2020

授業科目〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院  
芸術文化学研究科

## 授業科目〈シラバス〉について

この「2020 授業科目〈シラバス〉」は、令和2年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

## 大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究Ⅰ	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究Ⅱ	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90253	比較民俗学研究A	2	前期	1・2	講義	22
90254	比較民俗学研究B	2	後期	1・2	講義	24
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	26
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	27
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	28
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	29
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	30
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	31
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	32
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	33
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	34
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	35
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	36

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90234	西洋芸術批評史研究A (偶数年度開講)	2単位 後期	1・2	講義	尾形 希和子

■**テーマ** 動物図像についての考察を通して図像解釈学の方法に触れる。

■**授業の概要**

イタリア・ロマネスク美術の『動物誌』

ロマネスクの聖堂の内外には、聖書のエピソードやキリスト教の教義に基づく図像に混じって多くの世俗的図像が施され、聖と俗が分かちがたく渾然一体となっている。植物や動物、怪物などの図像は概して「単なる装飾」とであるとみなされてきた。しかし中でも「動物」の図像は、呪術的世界の残滓であると同時に、古代の著述や『フィシオログス』のような動物寓意譚に依拠するキリスト教的な象徴、寓意としても用いられている。本授業では、主にイタリアのロマネスク聖堂に描かれた動物たちの図像の役割と意味を、時に日本や西洋以外の文化と比較しつつ考察していきたい。

受講生は動物に関するテーマを選び、研究発表を行う。

■**到達目標**

- ・図像解釈研究の方法について理解し、その方法を自身の研究や制作の中で利用できるようにする。

■**授業計画・方法**

- 1) ロマネスクの時空について
  - 2) 『フィシオログス』『動物誌』について
  - 3) 図像解釈研究の方法について
  - 4) 動物と人間の境界について (アガンベン、デリダ)
  - 5) 「時」の表象と動物
  - 6) オケアノスの図像について (地中海の豊穡)
  - 7) セイレーン、トリトーン、スキュラについて
  - 8) 魚、イルカについて
  - 9) ワニとヒュドラについて
  - 10) ドラゴン・蛇、蝮について
  - 11) 鯨、レヴィアタン、ケートスについて
  - 12) マングースとコブラ、カワウソについて
  - 13) 研究発表
  - 14) 研究発表
  - 15) 総括
- ※ 定期試験は行わない

■**履修上の留意点** (授業以外の学習方法を含む)

- ・授業内で研究発表を行い、その内容をレポートに纏めて期末に提出する。

■**成績評価の方法・基準**

- 方法** 授業内での発表(30%)、期末レポート(40%)、通常の授業に積極的に参加しているか(30%)を総合的に評価する。
- 基準** 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。芸術文化学研究所(博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■**教科書・参考文献(資料)等**

□**参考文献**

尾形希和子『教会の怪物たち』講談社、2013年  
その他の参考文献は授業の中で紹介する。随時プリントを配付する。